

01 現状を示す資料(省略)

- | | |
|-------------------|------------|
| ●練習・発表・交流の場… | 文化芸術施設の現状 |
| ●ソフト事業のいま | 鶴岡市の芸術文化事業 |
| ●大切に受け継がれてきたもの | 歴史・文化資源 |
| ●実施中の事業を文化芸術の軸で整理 | 関連事業の整理 |

02 活動する人・参加する人の声をまとめる

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----|
| ●活動する人から生の声を聴く | グループトーク
「つるおか文化部ミーティング」 | 2 |
| ●参加者の気持ちを聴きたい | 文化芸術活動についてのアンケート | 3 |
| つるおか文化部ミーティングまとめ(部分) | | 4 |
| アンケートまとめ(部分) | | 10 |

02 活動する人・参加する人の声をまとめる

●活動する人から生の声を聴く

グループトーク「つるおか文化部ミーティング ○○編」

鶴岡市計画の策定に向けて、関係の深い団体の皆さんに集まっていただき、自由に話し合う「つるおか文化部ミーティング○○編」を実施しました。活動が続けていく時の課題や、これからどのような活動をしていきたいか、地域性や団体ごとの特徴も踏まえた意見がたくさん出ています。



◆グループトーク「つるおか文化部ミーティング○○編」

実施団体	日時	会場	参加者数
つるおか文化部ミーティング(一般向け)	7/31 夕方	鶴岡アート F.	13
羽黒町芸術文化協会	9/16(火)午後	羽黒庁舎	12
榎引芸術文化協会	10/17(木)午後	榎引生涯学習 C	8
中央公民館サークル運営委員会	11/1(金)夜	中央公民館	7
朝日芸術文化協会	12/4(水)夜	朝日すまいる	6
鶴岡市芸術文化協会	12/6(金)午後	鶴岡アート F.	24
高校生文化部 (1回目)	12/6(金)午後	鶴岡アート F.	4
藤島芸術文化協会	12/17(火)午後	藤島地域活動 C	19
高校生文化部 (2回目)	12/20(金)午後	鶴岡アート F	19
東北公益文科大学大学院	1/6(月)夜	公文大大学院	7
音楽関係者	1/16 (木) 夜	鶴岡アート F	15
温海芸術文化協会	1/19(日)午前	温海庁舎	20
		(延べ人数)	154

●参加者の気持ちを聴きたい

文化芸術活動についてのアンケート

市内の文化施設、各庁舎で開催される公演や展示への参加者に文化・芸術活動についてのアンケートを実施しました。

アンケートは「つるおか文化部ミーティング」の参加者にも会場で記入をお願いしたほか、地域性や対象となる年代や団体、公演や展示の特性をみながら実施しています。

◆アンケート実施状況

	会場	内容	実施日	回収数
羽黒町芸術文化協会	羽黒庁舎	グループトーク	9/17	1 2
あつみ作品展	温海ふれセン	展示	9/20-9/23	1 9
中央公民館文化祭	中公	展示・公演	9/27-9/29	8 4
立川談春 独演会	タクト	公演（落語）	9/28	2 7 3
小学校音楽交流会（小五保護者）	タクト	公演	10/9-10/11	6 2 1
障害者アート展「ひょうげんの花」	アート F.	展示	10/3-10/14	4 7
櫛引芸術文化協会	櫛引庁舎	グループトーク	10/16	8
劇団四季公演「エビータ」	タクト	公演	10/26	2 3 8
ふじしま文化祭	藤島地区	展示・公演	10/25-10/27	3 7
中央公民館サークル運営協議会	中公	グループトーク	11/1	7
はぐろ秋まつり	羽黒地区	展示・公演	11/2-11/4	5 1
あさひ産業文化まつり	朝日地区	展示・公演	11/3	3 5
あつみ文化祭	温海地区	展示・公演	11/3	4 7
県美展	アート F.	展示	11/13-11/18	1 0 7
山大農学部「地域を知る講座」	山形大学	-----	11/21	4 3
朝日芸術文化協会	朝日地域	グループトーク	12/4	6
芸術文化協会 芸術委員会	アート F.	グループトーク	12/6	2 4
高校文化部（高校生）	-----	-----	12 月中	1 8 6
高校文化部 顧問の先生	-----	-----	12 月中	1 6
きかんしゃトーマスコンサート	タクト	公演	12/8	1 1 0
民俗芸能交流発表会	中公	公演	12/8	1 2 4
藤島芸術文化協会	藤地域活動 C	グループトーク	12/17	1 9
公益文科大学大学院	大学院	グループトーク	1/6	7
音楽関係者	アート F.	グループトーク	1/16	1 5
櫛引芸文「新春のつどい」	櫛引生涯学習 C	展示・公演	1/18	4 5
温海芸術文化協会	温海ふれセン	グループトーク	1/19	2 0
図書館登録団体	図書館	-----	随時実施	3 8
文化施設学芸担当者	各施設	-----	実施中	

1月31日現在集計

2,239

芸文協芸術委員 グループトークまとめ

◎組織で活動するのが嫌な人、定年しても仕事やスポーツをやる人などが多く、人が集まらない

- ・定年した（特に男性）は仕事を続けたりスポーツをしたりする人が多く文化芸術活動にとりこめない。
- ・組織で活動するのが嫌な人が増えている。
- ・活動をやってみたいが時間がない人がいる

◎高齢化や活動内容の技能習得まで時間がかかるなどの理由で活動する人が減っている団体がある

- ・年を取って家族に止められて活動を止める人もいて会の維持をどうするか悩む
- ・上達まで10年以上かかる技能習得は若い人が続かない。
- ・お客も高齢化して来なくなった

◎高齢者や芸文協の側からは若い人の動きが見えにくい、時々はいっしょに活動したい

- ・高齢者と若者は活動は別々でも発表は一緒にするなど若い人も活動しやすくしたい
- ・芸文協の側からは精神的経済的な違いがあるのか若い人の動きが見えにくい

◎活動の活性化のために外部講師の招聘や地域の芸文協以外の団体とも情報交換したい

- ・指導者が不足しているので、レベルアップと活性化のため外部講師を招く補助があるといい
- ・発表や活動の機会があれば目標になり活動も楽しめる

◎子どもの頃の芸術体験は大事なので学校だけでなく学ぶ場を作り成長に応じて活動できるといい

- ・若いうちに芸術にふれることが大事なので子どもたちが体験できるきっかけがいくつもあり、大事にできるといい
- ・学校教育に和の文化を取り入れて興味を示してくれる小さいうちから体験させたい
- ・学校は忙しさや働き方改革で外部との連携の機会は限られている
- ・子ども向けの活動は放課後の活用など学校の外でもできるのではないか
- ・合唱団体のように小学生以降も継続して活動できる仕組みがあるといい

朝日芸術文化協会 グループトークまとめ

◎活動する人を増やすには、子どもの頃から体験させたり、出向いて楽しさを伝えたりすることが大切だ。

○子どもの頃の体験は心に残り大人になってから活動するきっかけにもなるので

やりたい気持ちを大事にしながら小さいうちから体験させたい

- ・子どもの頃の体験は心に残り成長してから活動を始めるきっかけになる
- ・合唱は小学生との交流で子どもたちにもっと歌いたいという気持ちになってもらった
- ・保育園では親子体験もできる。

○若者や新しい人に参加してもらうには、興味やライフスタイルの違いも考えながら出向いて楽しさを伝えたい

- ・出向いて活動する楽しさを伝えないと人は集まらない
- ・若者は生活スタイルや興味の違い、仕事の忙しさもあり活動に参加するのは難しい

◎地域で活動している人は活動の幅を広げ、活動を続けながら達成感を感じている

- ・活動する人はボランティアや小中学生の指導、都市交流など活動の幅を広げている。
- ・活動を続けてみんなで何かを成し遂げることは大事だ。
- ・祥雲御山太鼓は会員は増えないが、参加したイベントがKCTで放送されてPRになった
- ・越中山神楽は若い人も入り、地区の氏子にも支えられ祭り以外でも地区の人向けに公演している。

◎高齢化などで一部の人に仕事が集中したり、地域の景観が悪くなったりするなど影響が出ている

- ・リーダーなど活動する人には新たな誘いや仕事が集中してしまい益々忙しくなる
- ・活動団体や地域の高齢化が進み、景観など色々なところに影響が出てきている。

◎朝日地域では雪の中で育まれた伝統技術を伝える場も作り大事にしていきたい

- ・かんじきやわら草履を作る技術など雪の中の文化がなくならないか心配だ。
- ・かんじき作りは朝日南部コミセンで作り方の講習会をやって、作品を鶴岡市の作品展に出展したことがあった。

◎若い人をはじめ全市的に多くの方の意見を集め、計画に反映させてほしい

◎施設の利用申込や利用料などがもっと簡単に分かりやすくなるといい

温海芸文協 グループトークまとめ

◎イベントの拠点にバス等を活用して活性化につなげていきたい。

- ・スクールバスや福祉バスを使用して地域の活性化につなげたい。
- ・温海ふれあいセンターや公民館では無料で使用できる。

◎文化芸術に触れる機会をより多く作ることが重要になってくる。

- ・仕事などで文化芸術に親しむことが少なくなるのできっかけ作りが重要である。
- ・温海地域での老人作品展がなくなったので、もう一度開催してほしい。

◎他地域や他分野とのつながりが健康的な町づくりの基となる。

- ・職場体験などの人のつながりが健康的な町になる。
- ・温海の人たちの「のー」に癒された。
- ・様々な地域や文化との交流を図りたい。

◎伝統芸能などを継承するためにも都市部への情報発信が大切になってくる。

- ・伝統芸能など地域ぐるみで持続する工夫を考えないといけない。
- ・地域資源や独自の文化を大都市で情報発信していくことが必要。

◎少子化対策として経済的な面や親の理解が重要になってくる。

- ・少子化で会員が減ってきている。
- ・月謝が高いと生徒が集まらない。
- ・小さい子が音楽をしたい場合、親の理解が必要となってくる。

◎言葉遊び講座を夏休みに企画する。

音楽関係者 グループトークまとめ

◎音楽文化がもっと盛り上がるイベントをしてみたい

- ・オペラ公演や市民による第九など、新たな試みをしたい。
- ・他の地域、他のジャンルとの交流や、合同での発表会をしたい。

◎鶴岡シルクについての学びを深め、音楽シーンで活用できるとよい

- ・学校の授業で養蚕からシルクになるまでの過程を学び、鶴岡シルクのドレスを出演者が着るコンサートやイベントがあるといい。
- ・鶴岡シルクの衣装をコンサートなどで貸してもらいたい。

◎市内のあらゆる施設を音楽で活用したいが、様々な制約があるため、もっとわかりやすく、使いやすくなるといい。

- ・合唱や吹奏楽は音が出るため、練習場所を確保することが難しい。
- ・荘銀本店ホールを音楽活動にもっと利用したい。
- ・利用区分、利用料、減免規定、申請方法などがもっと利用しやすくなるといい。
- ・タクトのエントランス部分を音楽活動で使用したい。
- ・コンサートは1年以上前に計画を立てたいので、施設の予約も早くできるといい。
- ・施設スタッフの対応がよいと気持ちよく利用できる。

◎鶴岡の音楽文化を次世代に引継ぐため、子どもたちが文化に触れ、親しめる機会をもっと増やしたい

- ・子どもたちにプロの演奏やミュージカルなど本物に触れる機会をつくることが重要。
- ・子どもたちによい指導をすることが大事なので、小中高の指導者の育成が必要。
- ・小学校から中学校、中学校から高校という進学タイミングで音楽活動を継続する仕組みづくりが必要。
- ・子どもたちに指導したいが、働き方改革などの問題で時間が限られているため難しい。

◎学校教育（子ども）と社会教育（大人）の連携が、音楽文化を広げていくために必要

◎教育の場、家庭の場でリベラル・アーツ（教養、自由になるための手段）として音楽をもっと学んでほしい

高校文化部グループトーク・アンケートまとめ

◎気軽に活動できる場所、発表できる場所がほしい

- ・ 出入り自由で気軽に立ち寄って練習、活動できる場所がほしい
- ・ 見られると集中するので、公共スペースやスタバで勉強する
- ・ 空き家や壊す建物に絵を描いたり、個展を開いたりしたい
- ・ 楽器の練習場所がほしい

◎色々な発表の場があると活動にやりがいを感じる

- ・ 写真部では撮影した写真でグッズ制作や、広報で使ってもらう。
- ・ 自分の撮った鶴岡を紹介する写真を市で使ってもらえるといい。
- ・ パッケージデザインなど美術部へのオファーが多い
- ・ 演奏会や展覧会などもっと発表する場がほしい。

◎年代の垣根を超えて活動したい

- ・ 子供から高齢者まで垣根のない文化活動ができるといい
- ・ CM や映画、カレンダー制作などで幅広い年代の人と活動したい
- ・ 中学生を含め子供向けに読み聞かせやWS、伝統芸能にふれる機会があるといい

◎有名な展示や公演を見る機会や専門家の指導を受けてレベルアップしたい。

◎高校生がキャッチしたい情報提供や参加しやすい交通手段があるといい

- ・ SNS やネット、タクトの看板など高校生でもキャッチできるようイベントの情報を流してほしい。
- ・ イオンに行く時やインスタ映えする藤島のイルミネーションを見に行く時は公共交通を利用する。

◎内容も場所も参加しやすいイベントがあるといい

- ・ 「食べ物」は入りやすいので、イベントでも食文化の屋台があるとPRになる
- ・ 公演や駅など集まりやすいところでイベントがあるといい

◎鶴岡で長く伝えられてきたものや行事はPRしながら大切にしていきたい。

- ・ 刀剣や酒井家の歴史、黒いマリア像など地元の人知らないことをPRしてほしい
- ・ 講習会や展示会、小学校行事など長く続いているものがあるので続けていきたい

◎今の活動は将来仕事に活かしたり趣味として続けたりしたい

東北公益文科大学大学院 グループトークまとめ

◎拘束されない、参加できる場所を今の人たちは求めているのではないか。

- ・文化芸術活動に大人になって新しく入るのは勇気がいるし、敷居が高い
- ・銀座通りのDADAのような出入り自由で集まれる施設が増えるといい
- ・DADAのモデルは横浜のバンクアート。商店街に管理をまかせている
- ・(気軽に出入りできた)青年センターがなくなって若い人が活動できる施設がない。
- ・青年センターの機能が中央公民館に移ったが高齢者が多い

◎当事者以外の市民が鶴岡の文化芸術に誇りをもてるような取り組みが必要だ

- ・鶴岡の文化の何がどうすごいのか広く市民に伝える努力が必要
- ・芸術にかかわっていない人に結果をうまく伝えて分かってもらうように発信したい
- ・合唱が盛んなのは鶴岡の特色だと思う
- ・大会の結果が市民に伝わらない

◎行政が文化芸術を推進していくのは難しいので活動する人と課題を共有し協働したい

- ・行政は文化芸術に深入りしなくてもいい
- ・市だけが課題として取り組むのではなく、課題も当事者と共有して進みたい
- ・行政がするのではれば、平等や公平という立場でいいのではないか
- ・市民の要望をどのように吸い上げていくのか

◎情報の発信は世代や対象者ごとに違うので配慮したい

- ・移住した人が文化芸術活動に加入したくても、どう入るか分からない
- ・子供などはインターネットで情報収集ができない面がある
- ・情報の発信をする方法を高齢者と若い人に伝える違いがあるが、両方にうまくできるようにしたい

◎文化芸術の振興には、一流の人との交流がレベルアップにつながる

- ・一流の人から受ける刺激がレベルアップにつながる
- ・鶴岡は都会と比べて一流の人に会える機会が少ない
- ・一流との交流の機会、資金的な支援を行政に期待したい

◎アンケートまとめ(一般向け設問)

期間：9月～1月 回収数2,012人 (2/8現在集計)

①-1 性別

	男	女	不明	合計
集計	565	1,253	194	2,012

①-2 年代

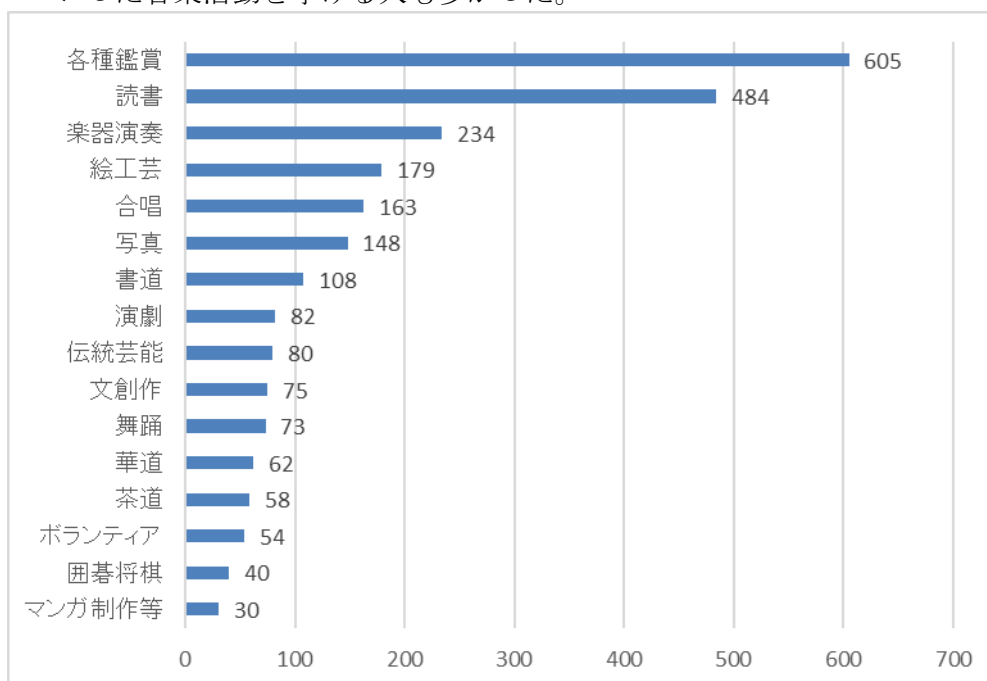
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
51	67	307	442	266	433	311	90	45	2,012

①-3 居住地

鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	県内	県外	不明	合計
1,091	139	135	116	64	120	112	8	227	2,012

① 日頃親しんでいる文化芸術活動(複数回答)

各種鑑賞と読書が多く、取り組みやすい活動を挙げる人が多い。楽器演奏や合唱といった音楽活動を挙げる人も多かった。



② 文化芸術活動を行う時の課題（無回答を除いて集計）

(1) 時間がなくて活動できない

そう思う	499
ある程度思う	419
どちらともいえない	220
あまり思わない	267
全く思わない	117

(2) 場所の確保が難しい

そう思う	244
ある程度思う	286
どちらともいえない	289
あまり思わない	278
全く思わない	182

(3) 仲間を集めるのが大変だ

そう思う	276
ある程度思う	309
どちらともいえない	362
あまり思わない	266
全く思わない	224

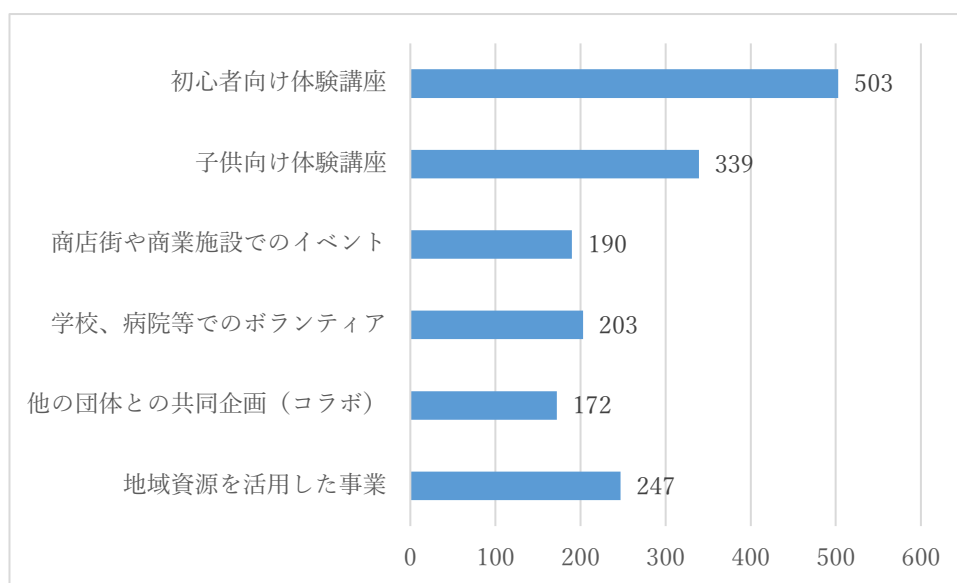
(4) 公演や講座の情報を集めるのが難しい

そう思う	242
ある程度思う	356
どちらともいえない	351
あまり思わない	318
全く思わない	161

(5) 施設利用で不便なことが多い

そう思う	146
ある程度思う	173
どちらともいえない	371
あまり思わない	330
全く思わない	172

③ 自身の文化芸術活動を活用してやってみたいこと（複数回答・無回答を除いて集計）



④ 鶴岡市の文化と芸術の特徴について感じる事（無回答を除いて集計）

(1) 気軽に鑑賞できる

そう思う	346
ある程度思う	549
どちらともいえない	294
あまり思わない	183
全く思わない	29

(2) 子供の頃から文化芸術に親しめる

そう思う	330
ある程度思う	698
どちらともいえない	407
あまり思わない	190
全く思わない	30

(3) 大人になってから

趣味や習い事に気軽に親しめる

そう思う	244
ある程度思う	487
どちらともいえない	565
あまり思わない	281
全く思わない	43

(4) 合唱や楽器演奏など音楽が盛んなまちだ

そう思う	342
ある程度思う	635
どちらともいえない	475
あまり思わない	206
全く思わない	38

(5) 歴史ある芸術祭や書道展、美術展がある

そう思う	359
ある程度思う	718
どちらともいえない	414
あまり思わない	171
全く思わない	26

(6) 公演や展示、練習できる施設が充実している

そう思う	227
ある程度思う	544
どちらともいえない	566
あまり思わない	274
全く思わない	38

(7) 食文化が豊かだ

そう思う	771
ある程度思う	650
どちらともいえない	204
あまり思わない	88
全く思わない	11

(8) 文化財や伝統芸能が
大切に守られている

そう思う	587
ある程度思う	841
どちらともいえない	232
あまり思わない	58
全く思わない	7

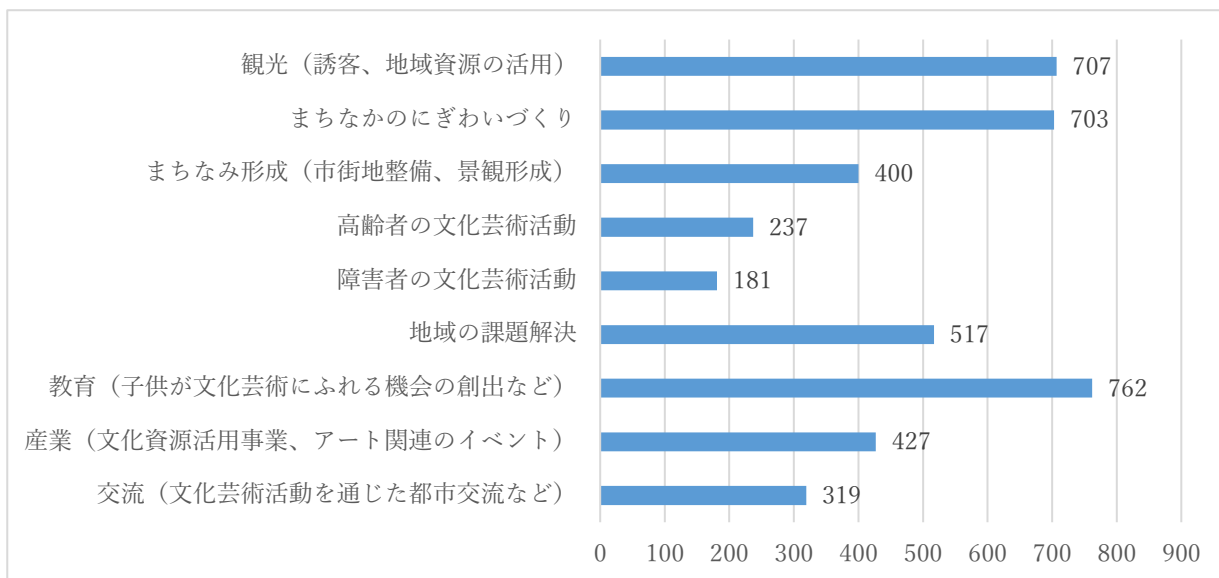
(9) 歴史的なまちなみや建物が
大切に守られている

そう思う	434
ある程度思う	810
どちらともいえない	336
あまり思わない	99
全く思わない	19

(10) 著名な作家や芸術家を輩出している

そう思う	297
ある程度思う	570
どちらともいえない	410
あまり思わない	121
全く思わない	27

⑤ 鶴岡市の文化芸術を他の分野で活かしてほしいと思う項目（複数回答）



鶴岡田川地区 高校文化部アンケート 追加設問

11月～12月に対応可能な部に郵送で配布、回収。

① 回答者の属性

① -1 アンケート協力校内訳（※はグループトークも協力）

※鶴岡南	※鶴岡北	鶴岡中央	庄内農業	加茂水産	羽黒	総計
19	5	57	1	6	98	186

① -2 性別

男性	女性
25	161

① -3 学年

1年次	2年次	3年次
86	90	7

① -4 居住地

鶴岡	56	三川町	7
藤島	11	庄内町	20
羽黒	7	飽海地区	46
櫛引	8	最上地区	18
朝日	3	新潟県	3
温海	4	※市外計	94
※市内計	89	※不明	3

① -5 部活動の内訳

複数の部で活動（兼部）する生徒もいる。

吹奏楽	66	水泳（新聞）	4
美術	32	チア、写真部	2
合唱	22	茶道、バイオ、競技かるた	2
IMC (ITメディアサイエンスクラブ)	13	JRC,新聞	1
華道部	12	写真、JRC,生徒会	1
茶道	10	写真、生徒会、サッカー	1
写真	8	卓球、英語、新聞	1
水産生物	5	美術・写真	1
書道	4	和太鼓	1
		総計	186

② 部活動の活動時間

平日は継続的に活動している団体が多いが、休日は活動しない団体と半日もしくは1日中活動する団体がある。

②-1 平日の活動時間

1～2時間未満	29
2～3時間未満	73
3時間以上	71
記載なし	13
総計	186

②-2 休日の活動時間

1～2時間未満	3
2～3時間未満	7
3～4時間未満	29
4時間	7
5時間	5
6時間	39
7時間	15
0時間	36
記載なし	45
	186

③ 自由時間の過ごし方

平日と休日に分けて自由時間に何を何時間やっているかを聞いた。

勉強時間は1時間～2時間以内が多いが、記載なしの人も多い。スマホの利用時間が長く、イベント情報等もSNSで収集するというグループトークでの発言を裏付ける内容となっている。また、読書をする習慣がある人は30人程度となっている。

(1) 平日の勉強時間

1時間以内	69
1.5～2時間	27
2.5～3時間	8
3.5～4時間	2
記載なし	80
総計	186

(2) 休日の勉強時間

1時間以内	43
1.5～2時間	35
2.5～3時間	19
4～5時間	14
6～7時間	4
記載なし	71
総計	186

(2)平日のスマホ利用時間

1時間以内	29
1.5～2時間	71
2.5～3時間	37
4～5時間	28
6～7時間	8
8時間以上	5
記載なし	8
総計	186

(2)休日のスマホ利用時間

1時間以内	11
1.5～2時間	26
2.5～3時間	48
4～5時間	52
6～7時間	15
8時間以上	24
記載なし	10
総計	186

(3)平日の読書時間

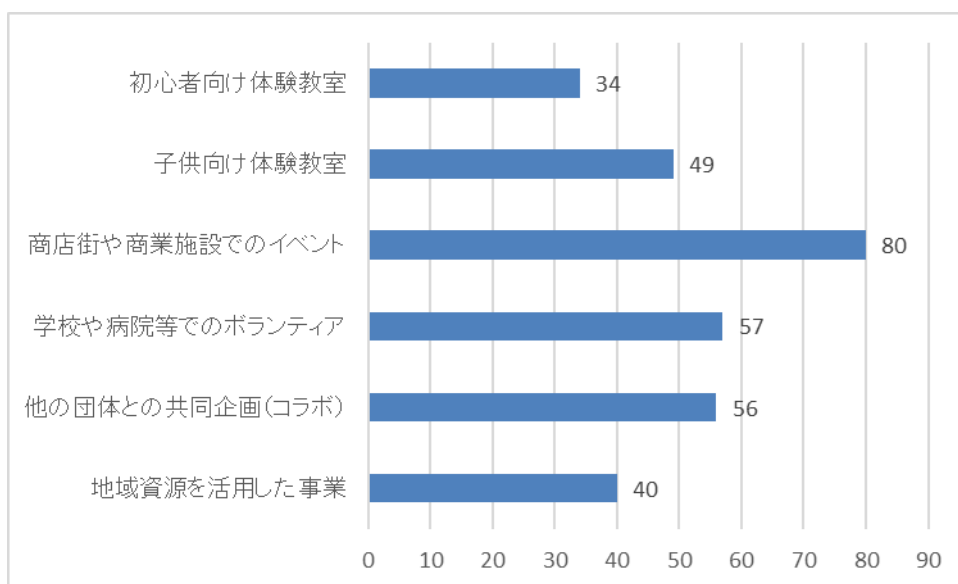
1時間以内	31
1.5時間	1
2時間	4
記載なし	150
総計	186

(3)休日の読書時間

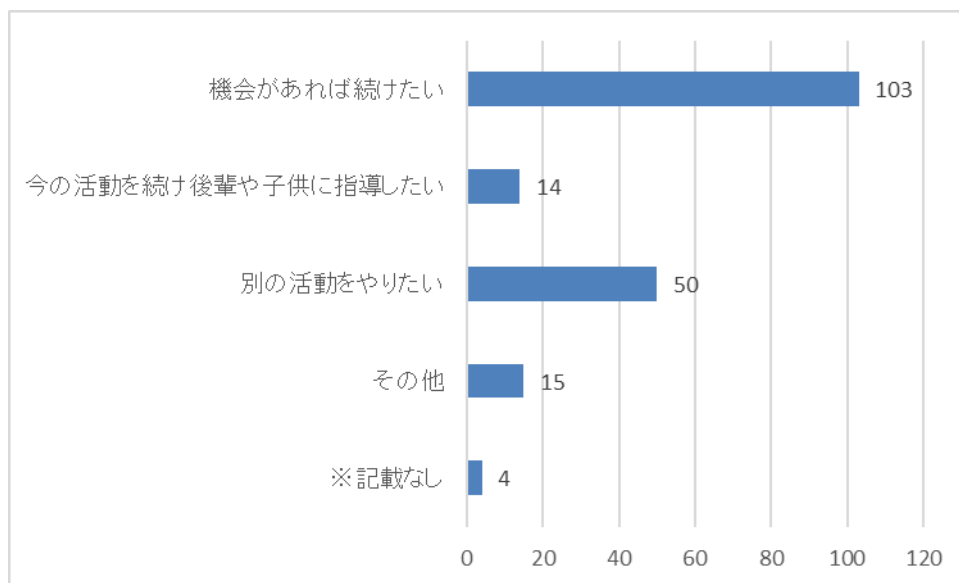
1時間以内	24
2時間	6
3時間	4
4時間	1
記載なし	151
総計	186

④ 今の部活動を活用してやってみたいこと（複数回答）

商店街や商業施設でのイベントが多く、ボランティアが続く。学校以外で発表する機会を求める声が多かった。

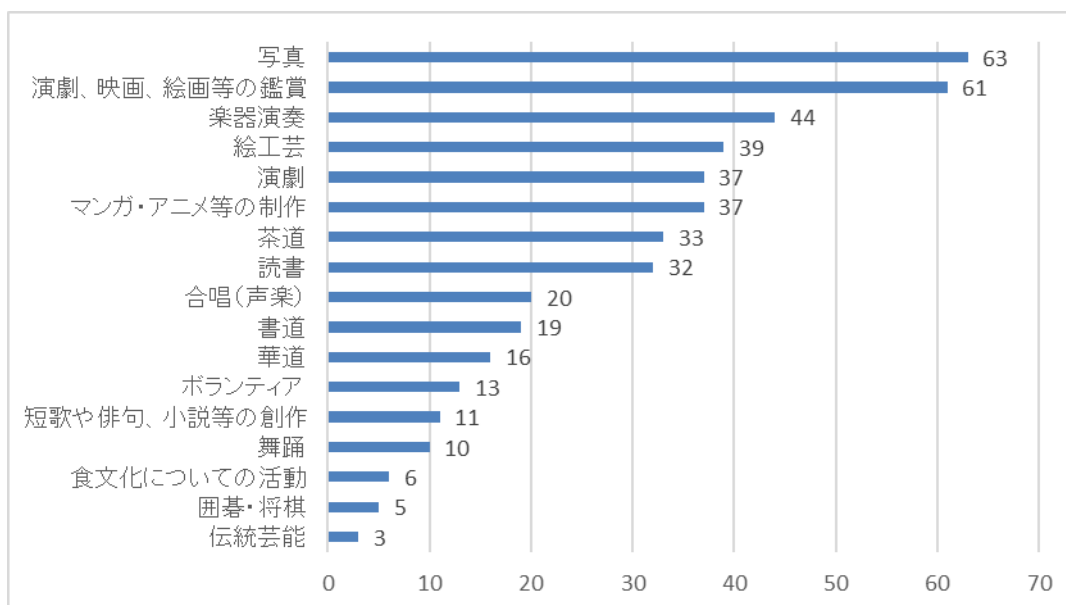


- ⑤ 社会人になった時、現在部活動で行っている活動にどのように関わりたいか。
 機会があれば続けたいという回答が圧倒的に多かった。
 半面、別の活動をやってみたいという声も多かった。



- ⑥ 現在の部活動以外でやってみたいこと（複数回答）

写真や鑑賞など取り組み易い活動が多い。写真はスマホの利用時間の長さから SNS での活用も考えられる。また、③の設問で読書習慣のない人が多かったが、読書をしたという人も30人を超えている。



自由記入：e スポーツ、ゲーム制作、声優の体験（各1人）

山形大学農学部 地域を知る講座 受講生 追加設問

講義時間内にアンケートを配布しその場で記入してもらい回収した。対象は大学2年生。

② 回答者の属性

性別		出身地									
男性	女性	市内	県内	北海道	東北	新潟	関東	静岡	長野	不明	総計
21	22	3	8	3	10	6	9	2	1	1	43

③ 部活動の内訳 複数の部で活動（兼部）する学生もいる（無回答あり）。

文科系(ボランティア含む)

アカペラ	3
ジャズ	2
マンドリン	1
吹奏楽	2
花笠サークル四面楚歌	2
フィルハーモニーオケ、	2
漫研	2
ボランティア	6
小計	20

スポーツ系

サリバンディ(室内ホッケー)	1
テニス	1
バドミントン	2
バレーボール	4
フットサル	1
ボート	3
柔道	1
野球	3
小計	16

④ 部活動の活動時間

定期的な活動ではなく、イベント時等のみ活動する団体もあり、普段の活動時間が0時間という回答もあった。

②-1 平日の活動時間

②-2 休日の活動時間

0時間	7	0時間	6
1時間以内	2	1時間以内	13
1.5～2時間	13	1.5～2時間	2
3時間	3	3時間	2
4時間以上	2	5時間以上	5

⑤ 自由時間の過ごし方

平日と休日に分けて自由時間に何を何時間やっているかという設問。

勉強時間は1時間～2時間以内が多いが、記載なしの人も多い。スマホの利用時間が長く、読書をする習慣がある人は7人程度となっている。アルバイトは休日に半日程度という回答が多かった。

平日の勉強時間

1時間以内	14
1.5～2時間	5
3時間以上	2
記載なし	21

休日の勉強時間

1時間	9
2時間	5
3時間	3
記載なし	25

平日のスマホ利用時間

1時間	8
2時間	15
3時間	7
4時間	2
5時間	5
記載なし	13

休日のスマホ利用時間

1時間	5
2時間	11
3時間	8
4時間	1
5時間	3
6時間以上	2
記載なし	12

平日の読書時間

0.5時間	1
1時間	5
2時間	1
記載なし	35

休日の読書時間

0.5時間	1
1時間	2
2時間	2
3時間	2
記載なし	35

平日のアルバイト

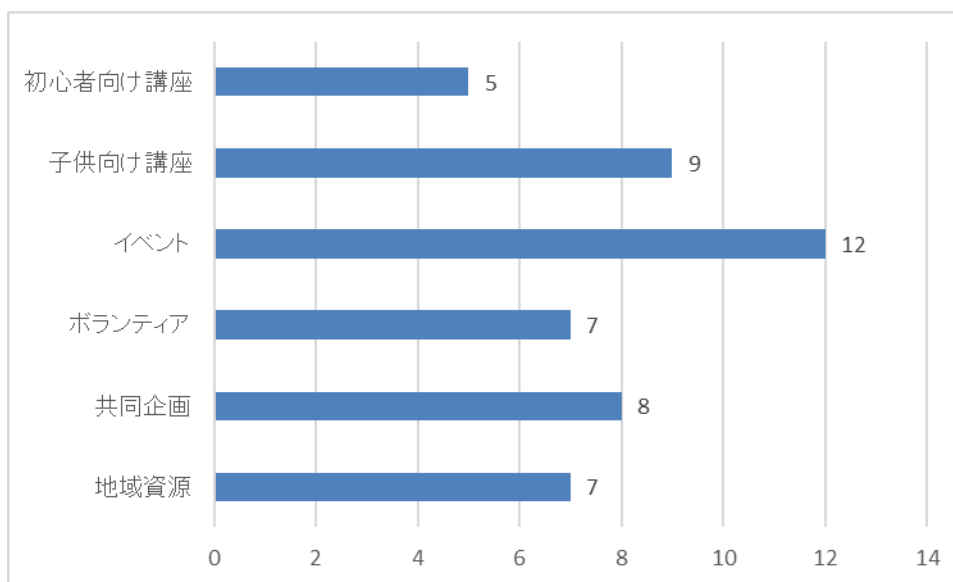
1時間	0
3～4時間	7
5時間	2
7時間	1
記載なし	32

休日のアルバイト

1時間	1
3～4時間	5
5～6時間	12
7時間以上	8
記載なし	16

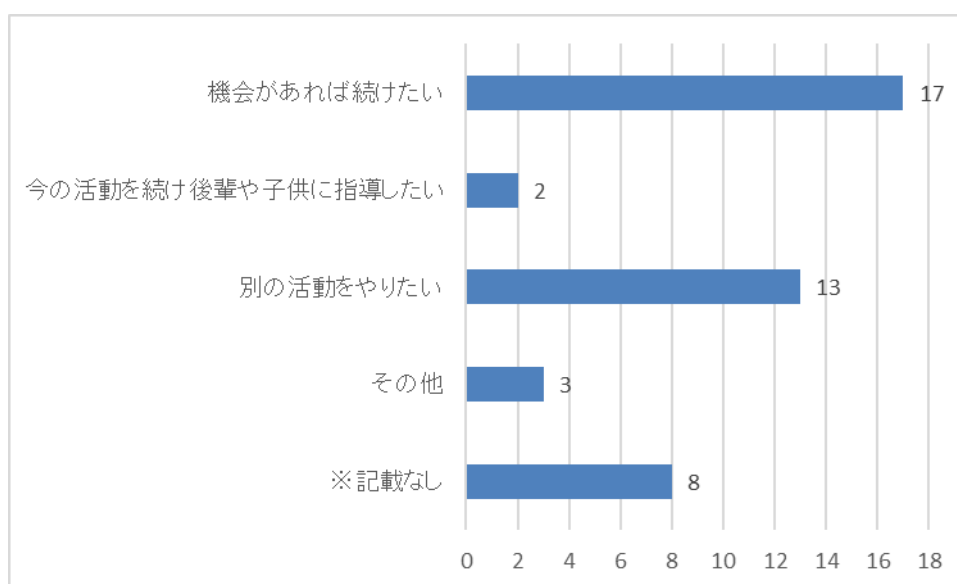
⑥ 今の部活動を活用してやってみたいこと（複数回答）

商店街や商業施設でのイベントが多く、発表する機会を求める声が多かった。



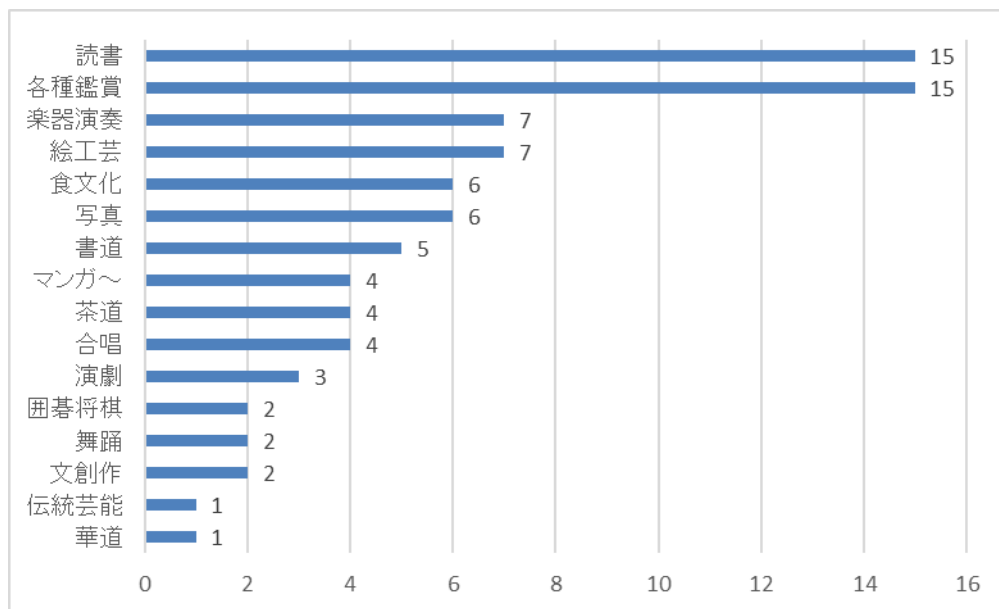
⑦ 社会人になった時、現在部活動で行っている活動にどのように関わりたいか。

機会があれば続けたいという回答が多かったが、別の活動をやりたいが続いた。



⑧ 現在の部活動以外でやってみたいこと（複数回答）

読書、鑑賞と取り組み易い活動が上位となった。④の設問で読書習慣のない人が多かったが、読書をしたいという人も多い。



自由記入：山登り、昆虫採集（各1人）